



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会社名 株式会社 T B グループ  
代表者名 代表取締役会長兼社長 村田 三郎  
コード番号 6775 東証第 2 部  
問合せ先 常務取締役経営管理本部長 信岡 孝一  
(TEL. 03 -5684 -2321 )

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想と実績値との差異及び特別利益（連結決算）の計上  
並びに特別損失（個別決算）の計上に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 2 月 9 日に公表いたしました業績予想と実績値との間に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績値の差異

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想（平成 29 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	3, 6 0 0	△ 8 8	△ 9 6	△ 1 6 0	△ 1. 8 3
実 績 数 値 (B)	3, 4 2 8	△ 1 5 1	△ 1 5 8	△ 2 0 8	△ 2. 3 9
増 減 額 (B-A)	△ 1 7 1	△ 6 3	△ 6 2	△ 4 8	△ 0. 5 6
増 減 率 (%)	△ 4. 8	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	4, 0 8 2	△ 3 0 1	△ 2 9 3	△ 3 1 7	△ 3. 6 3

差異の理由

第 4 四半期の売上高は、S A 機器事業でのデジタルタコグラフの品質面での問題による減少及び新規商材であるカプセル型宿泊施設向け製品「まゆ玉」の販売見込みの遅れと、インバウンド事業である音声ペン等の販売が計画を下回り売上高は予想を下回りました。

営業利益、経常利益につきましては、売上高減少による粗利金額の減少によるものと、回収遅延による販売代理店への貸倒引当金繰入額の計上等により販売費及び一般管理費が予想を上回ったことから予想を下回りました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益に持分変動利益を計上しましたが、経常利益の減少に伴い前回発表を下回りました。

2. 特別利益（連結決算） 持分変動利益 1 4, 3 4 2 千円の計上

持分法を適用している関連会社の増資に伴い当社持分相当額の変動利益を特別利益に計上いたしました。

3. 特別損失（個別決算） 関係会社整理損失引当金繰入額 8 0, 6 1 5 千円の計上

連結子会社の事業整理に伴う債務整理等に備え、関係会社整理損失引当金繰入額を特別損失に計上いたしました。個別決算における関係会社整理損失引当金繰入額は、連結決算上消去される為、連結業績に与える影響はありません。

以上